

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」せんげん台校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援及び、安心して支援を受けることができるよう、個々の支援ブースが仕切られている。	利用者個々に興味を引く教材を使用し、成長に繋がるよう支援を行う中で、他利用者へ影響がないようブース内で配慮している。	児童それぞれの成長に応じて、継続した情報共有を更に強化し、教室のみならず専門職の意見を聞きつつ支援に活かしていきます。
2	お子様の成長段階で様々なことを吸収する時期に、経験豊富な保育士と作業療法士が在籍しているため、専門性を活かした児童発達支援を提供することができる。	担当を固定せず、様々な資格や経験のある指導員と関わりを持つことで、多角的に成長を見守りながら、子供の特性に合わせた支援を提供している。	子育ては家庭が中心であるため、より保護者との情報共有を行いながら、家庭での関りの助けになるような支援を行っていきたい。
3	3歳未満児や個々の様子に合わせて、指導員の対応人数を変え、子供が突発的に動いても安心して支援を受けることができるように工夫している。	保護者とも情報共有を行いつつ、常に職員間で情報共有を行いながら、適切に継続した支援を提供している。 また、状況に応じて指導員2名体制にて支援対応を継続。	保護者の支援見学を行っていただくとともに、家庭や園での状況やを伺いながら、相談支援時間を充実させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室が2階にあり、外階段が児発のお子様には大変上りにくいものとなっているとともに、駐車場が1か所のみとなるため、送迎時に不便が生じる。	賃貸物件であり、手を入れることは難しい。開所当初、学習支援中心であったため使いにくさを想定しにくかった。	利用者の状況に合わせて、階段乗降時には職員の付き添いや他必要な対応を行っている。 また、今後外階段部分に転落防止ネット等の設置を行っています。 事業所移転を検討中
2	事業所が狭いため、十分な支援スペースを確保することが難しい。	支援スペースに制限があるため、粗大運動など指導員の強みを生かした支援に制限がある。	現在利用できるスペースで行うことができる支援内容や教具の工夫及び、専門職員の意見を参考にしながら対応。また、事業所移転も視野に検討中。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」せんげん台校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 9 名

回収数 7 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					今後も、パーティションを使用し、個々の活動空間を確保してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					基準人員＋加配人員で対応しています。専門職を配置する事でより専門性の高い職場環境を整えてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1				賃貸物件であるため手を加えることは難しいが、外階段等転落防止ネットなどの工夫を行い、必要に応じて付き添いを行うなどの対応を心掛けてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					引き続き、安心してご利用いただけるよう、環境整備及び衛生管理に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					モニタリングやアセスメントを行い、支援の様子も踏まえ、専門性のある計画を作成してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					今後も、活動内容等丁寧な説明を行ってまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					モニタリングやアセスメントを行い、支援の様子を踏まえて支援会議を行い支援計画書を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					今後も、お子様の特性や保護者の意向等聞き取りながら、必要な支援を行ってまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					今後も適切な支援を提供できるよう、必要に応じて計画の見直しを行いながら進めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					目標に対しての進捗状況や保護者の意向・利用者の特性・支援時の状況を考慮し活動を行ってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1		2		個別療育の為、交流は行っておりませんが、機会があれば検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					支援後のフィードバック時や後日の電話、計画見直し時に、変更のあった時点で随時説明を行ってまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1		1		外部情報提供の他に、ご要望があれば時間を設けて行っていきたくと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9					様々な事柄、必要な情報を共有し共通理解のもと対応をしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					引き続き、フィードバックや相談支援を行いながら対応してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1				今後とも児童の成長を共有しながら支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1		4		ご希望があれば開催を検討してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					今後も、相談や申入れをした際には迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					一人ひとりの特性に応じて、意思疎通・情報伝達を実施してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			1		教室内掲示やSNS等での情報発信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					今後も適切に、個人情報について鍵付き書庫で管理してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1				各種マニュアルの見直しや研修を行いながら、発生時適切に対応できるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		2		今後も、定期的に訓練を行っていき、周知できるよう心掛けてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					観覧スペースにて周知を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					発生時には適切かつ丁寧な対応と説明を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					今後も安心して過ごしていただけるよう信頼関係を築いてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9					今後も、児童・保護者と情報交換を行いながら楽しく活動することができるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					お子様の様子や支援内容など、今後も丁寧に説明してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」せんげん台校				公表日	2025 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションを使用し、個々の活動空間を確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令等に遵守し配置しています。	安全かつ専門性を高めるための人員配置を進めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	個別療育を行う事業所としては適切な配置となっています。教室が2階にありバリアフリー化は難しい、階段の利用には注意を促しています。	階段利用時に必要に応じて付き添いを行うなどの対応を心掛けてまいります。また、今後外階段部分に転落防止ネットなどの設置を行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃と支援後のブース及び教具の消毒を行っています。定期的な空気の入れ替え等、感染対策にも意識し環境を整えています。	安全性にも考慮し、引き続き対応してまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		障害特性および支援内容によって、使用ブースを変え、適切かつ安全に支援を受けることができるよう工夫しています。	限られた空間を工夫し、引き続き特性に応じて、安全に支援を行ってまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		適時情報共有及び事業所内会議を通して行うことができます。	今後も、情報共有及び事業所内会議や上長による面談等を行いながら、個々の成長につなげ、適切な支援に繋がるよう取り組んでまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表では把握できないが、支援後等のフィードバックで行うことが出来ています。事業所内にて観覧も可能です。	事業所運営及び、支援の質の向上に繋がるよう、今後も実施してまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適時情報共有及び事業所内会議を通して行うことができます。	支援後のフィードバック時等でも対応しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		発達支援研究所との連携で業務改善を行っています。	上長や専門職員の介入など、適切な事業所運営をお粉うことができるよう対応してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		本部・人事主催による研修や発達研究所による研修、また、ブロック内・ユニット内での研修を行っています。	外部研修へも参加できるよう努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画書の更新時には、保護者様への説明を行い同意を得ています。	作成時に確認し支援計画に反映できるよう努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎年のアセスメント及び日々情報共有を行い検討した上で、計画作成を行っています。	相談支援や日々の支援時に情報共有を行いながら、適切な計画作成に努めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議及び原案作成に至るまで、会議を行い児発管・指導員共通認識にて検討し計画を作成しています。	日々の支援状況等を共有しながら、適切に計画作成が行われるよう努めていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成時から指導員も共有、日々の支援内容を共有しながら進め、また内容が異なる場合には計画の見直しを行っています。	直接支援を行う際には、計画の確認を行い内容に不備がないよう努めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人で定められたアセスメントシートを使用し日々の様子も併せ確認を行っています。	日々情報共有を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子様の特性や保護者の意向等聞き取りながら個別支援作成時に5領域に合わせた目標を設定、支援内容がわかりやすいよう具体的に記載しています。	今後、移行支援や地域支援等要望があれば、適切に対応していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画に基づき、各指導員の専門性でその日のプログラムを作成、指導員間での共有のもと行っています。	引き続き、情報共有を常に行うことができるよう努めていきます。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	各指導員の専門性を活かしながらのプログラムで活動し、固定化しないよう努めています。	引き続き、固定化しないよう都度検討してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別療育が基本であるが、イベントとして小集団活動として、個別とは異なる経験の場を必要に応じて実施しています。	引き続き、小集団支援を実施できるよう検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	随時、職員間で情報共有を行い連携して進めています。	引き続き、支援開始前ではなく、適時情報共有を行う場を設けていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	緊急を要するものに関して口頭及び連絡ツールでの情報共有を行い、随時振り返り留意点を共有しています。	引き続き、支援終了後ではなく、適時情報共有を行う場を設けていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録の作成を徹底しています。	引き続き、記入漏れがないよう管理してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月毎及び必要に応じて適時行っています。	6カ月の期限にとらわれることなく、引き続き、必要に応じて検討してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に児発管が参加しています。電話によるモニタリングの場合には、指導員が対応しています。	開催時間に指導員対応が可能な限り参加していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて連携体制を整えています。	必要に応じて、対応してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	情報共有・連携を希望されている児童は少ないが、要望があった場合には、丁寧に対応しています。	今後も必要に応じ、外部との連携を進めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	ご依頼があった時や必要に応じて行っています。	今後も必要に応じ、外部との連携を進めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	支援センター主催の研修等に参加しています。	児発管のみの参加となっているため、指導員の参加や交流の機会も設けていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	個別療育の為、交流は行っておりません。	今後、必要に応じて検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援後のフィードバック及び電話やラインなど利用日以外の時間に来所頂く等、共通理解を図っています。	引き続き、フィードバック以外の時間であっても、必要に応じて対応してまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	PTO は行っていないが、相談支援や支援終了後のフィードバック時に相談・家庭での対応方法などアドバイスしております。	必要に応じて、家族支援を実施しています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時及び変更時に、重要事項説明書とともに、丁寧に行っています。	引き続き、変更時にも丁寧な説明を行ってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	支援計画作成時に保護者に支援目標・支援内容を確認し個別支援計画を作成しています。	個別支援をもとに適切な内容で支援を行ってまいります。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画作成後に計画内容に説明と同意を得ています。	引き続き、丁寧な説明を行ってまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談を受けた際には支援時以外の時間であっても必要な助言と支援を行っています。	必要に応じて、家族支援を行ってまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	実施できていません。	希望されている保護者もいる為、今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れをした際には迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	引き続き、申し入れがあったときには迅速に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室内掲示やSNS等での情報発信を行っています。	定期的に、教室内掲示・ブログ・Instagramにて周知を行ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法令等に則り適切に管理しています。	引き続き、適切に取り扱ってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者の特性に配慮した情報伝達を行っています。	外国籍・祖父母など、適切に内容が伝わるよう、配慮してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個別療育の為、行っておりません。	必要に応じて、今後検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルに基づき対応。保護者には、契約時に警報発令、地震等発生時の対応について周知しています。	様々な訓練等、利用者の参加も検討しつつ対応してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に、研修及び訓練を行っています。	危機管理を行いつつ、継続的に訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服用している薬やアレルギー等の確認を行い、体調変化時の対応について保護者確認を行い職員間で共有しています。	状況の変化にたいして、情報共有を怠ることなく対応していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供は行っていないが、アレルギーについては把握しています。	今後も、事業所内での食事は行いませんが、利用児童の健康状態を把握してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所内訓練を行い確認を行っています。	随時、安全確認を行いながら対応していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事業所内での危険箇所等確認し、必要に応じて共有を行っています。	掲示周知を行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった場合は、報告書を作成し、情報を共有しています。	常に、状況を把握しながら、内容共有を行ってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人主催の研修及びブロック内研修を行っています。	定期的にチェックリストを用いて防止に努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		法人主催の研修及びブロック内研修を行っています。	今後、身体拘束が必要な時には適切に対応していきます。